

事業所名

放課後等デイサービス ていんくる開西

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

3月

10日

法人（事業所）理念		・一人ひとりの可能性を信じ、体験を通して未来につながる力を育む		
支援方針		1.発達特性を丁寧に把握し、その子に合った支援を行います。2.体験活動を通して「実際にできる力」を育てます。 3.活動の中にSSTの視点を取り入れます。4.成功体験を積み重ね自信に繋がります。		
営業時間		平日 13:00 ~ 17:00 ※延長支援で18:30まで預かり可能。 休校日 11:00 ~ 16:00 ※延長支援で18:30まで可能。	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	生活リズムの安定と自己管理能力の向上を目的に、構造化や視覚支援を取り入れながら日常生活に直結する活動を行っています。外出前の準備確認や調理活動を通じた衛生管理に加え、洗い物・洗濯・掃除を当番制で実施し、役割を持って取り組む経験を重ねています。これらの活動を通して、基本的な生活習慣の定着、責任感の育成、情緒の安定を図り、自立に向けた基盤づくりにつなげています。		
	運動・感覚	感覚特性や身体発達の状況を踏まえ、段階的な身体活動を取り入れています。公園での遊具活動や集団レクリエーション、季節に応じた屋外活動、制作活動における巧緻動作の練習などを実施しています。これらの経験により身体の動きや感覚の特性を整え、日常生活に必要な「動く力・感じる力」を育みます。		
	認知・行動	行動の背景要因を丁寧に把握し、適切な理解と選択、落ち着いて行動できる力の育成を目指しています。買い物学習での予算管理や優先順位の判断、公共施設利用時のルール確認、衝動を抑えて待つ、活動後の振り返りなどを通して、実体験の中で問題解決力や自己抑制力を養います。これにより、状況に応じた適切な判断と行動の定着を図っています。		
	言語 コミュニケーション	実生活場面で「伝える・聞く・やり取りする力」の育成を図ります。買い物時のやり取りや調理活動での役割分担の話し合い、活動前後のミーティングなどを行います。また、活動にSSTを取り入れ、場面を想定した伝え方や聞き方を具体的に示しながら練習を重ねることで、対人関係の安定と自己表現力の向上につなげています。		
	人間関係 社会性	仲間との協働体験や役割経験を通して、社会の中で必要な関わり方（人と関わり、集団の中で生活する力）を育みます。季節行事の企画参加や地域施設の利用、グループ制作活動などに取り組み、協調性や責任感、共感力、協働力を育みます。成功体験を振り返ることで自己肯定感を高め、社会参加への自信と意欲につなげています。		
家族支援		日々の様子を共有しながら家庭と連携し、一貫した支援を行います。必要に応じて関わり方の助言や相談対応を行い、安心して子育てができる環境づくりを支えます。	移行支援	将来の自立や進学等を見据え、生活力や社会性を段階的に育成します。関係機関と情報共有を行い、環境の変化に円滑に適応できるよう支援します。
地域支援・地域連携		公共施設利用や体験活動を通して社会参加の機会を広げます。あわせて学校や関係機関と連携し、継続性のある支援体制を整えます。	職員の質の向上	外部研修への参加および法人内研修を定期実施し、支援に必要な知識・技術の習得と共有を図っています。また、チャレンジシートを活用した年2回の個別面談により、目標や課題を整理し、日々の支援や連携に活かしています。
主な行事等		安全に生活するための練習や季節の行事、体験活動を通して、社会性や生活力の向上を図っています。隣の施設と連携した避難訓練、春のお花見や外出活動、夏の水遊びや調理体験、秋の制作活動や地域施設利用、冬のクリスマス会や年末行事などを計画的に実施しています。また、公園や公共施設の利用・見学、買い物学習などの社会体験活動を多く取り入れ、実生活に即した多彩な経験を積み重ねています。行事の準備や役割分担、活動目的の明確化や振り返りの時間を大切にすることで、協調性や責任感、達成感を育み、日々の支援目標につなげています。		